

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町 355
tel075-533-6860 / fax075-531-0009
e-mail:pub@shibunkaku.co.jp

オンライン特別販売・予約サービスのご案内

⇒特 販 期 間 **10月31日（火）まで**
 (※2023年11月1日以降のご注文は定価での販売になります)

⇒対象図書 思文閣出版発行**図書全点**

⇒特別販売価格 **2割引**（「京都大学博物館図録」の各シリーズは対象外）

⇒申し込み方法 e-mail: pub@shibunkaku.co.jp
 fax: 075-531-0009

上記いずれかの方法で、
件名を「中古文学会オンライン特別販売」とした上で、

- ・お名前 ・ご送付先 ・お電話番号
- ・メールアドレス または fax 番号 ・書籍名

をお知らせ下さい。
最終頁に fax 用注文書をお付けしましたので、ご利用下さい。

⇒お渡し/支払方法 「代金引換」または「前払い」で送本
 （前払いは入金先を折り返し連絡いたします。入金確認後送本）
 ・公費でのご注文の場合にかぎり後払い可。
 必要書類を必ずご指示ください。

 ・購入金額 20,000 円未満は送料 900 円。20,000 円以上は、送料サービス。

 ・未刊書と既刊書の両方ご注文の場合、未刊書籍とまとめて送付か、先に既刊書を発送かをご明示ください。送料は1回ごとに加算されます。

書籍情報は思文閣出版 web サイトよりご確認いただけます。

<https://www.shibunkaku.co.jp/publishing/list/>

釈迦信仰と美術

—作品解釈の新視点—

稲本泰生 編 ▶ A5判・口絵4頁+634頁／定価：本体 12,000円(税別) ISBN978-4-7842-2037-3
【2023年9月刊行】

釈迦の「生」は、いかに捉えられてきたか。仏伝（釈迦の一代記）の物語、その舞台となった聖地、釈迦関係の聖遺物などにまつわる仏教徒の営為と文物の関係を、具体例に即して検証し、歴史上に位置づける。第一線の研究者13名が、釈迦イメージの形成・継承・変容の様相を横断的に浮かび上がらせ、新たな研究視点を提示する共同論集。

内容目次

『釈迦信仰と美術—作品解釈の新視点』序説 稲本泰生

第一部 釈迦の生涯をたどる—仏伝と仏蹟巡礼の美術

いわゆる「仏陀なき仏伝図」に表現されたブツダと声聞衆
(有部および大衆部)の仏身論について 外村 中

南アジア初期仏教美術における聖地表象—仏伝図との関係を中心に 島田 明

ガンダーラ地方における初期の仏伝図の探究

—ラニガト寺院址出土浮彫画像帯の分析から 内記 理

聖地と光の幻影—女神マリーチーをめぐる マイケル・ウイリス

安塞大仏寺四号窟における画像構成の意義と北朝期の仏伝表象 稲本泰生

第二部 社会の釈迦の姿をあらわす—仏のかたち人のかたち

佛從何出生—ブツダイメージの中国化と二元化 岩井共二

草座釈迦像とその儀礼—宋元江南仏教儀礼の中世日本への伝播 西谷 功

一休宗純賛「苦行釈迦図」(京都・真珠庵)の図像的淵源 板倉聖哲

天平様式観の形成—日本古典美術の構築と受容 中野慎之

第三部 釈迦の不在をこえる—涅槃表現の諸相

初唐期及び奈良時代の涅槃表象と涅槃観 田中健一

「応徳涅槃図」再考—原本の存在とその絵画史的位置 増記隆介

京都国立博物館蔵釈迦金棺出現図に関する諸問題—主題の観点を中心に

達磨寺所蔵仏涅槃図考—釈迦の姿形と賛文を中心に 谷口耕生

大原嘉豊

あとがき
執筆者一覧



いなもと・やすお… 1966年生。京都大学大学院文学研究科博士後期課程中退、京都大学人文科学研究所教授

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

推薦のことは

激動の鎌倉時代初頭に聖なる造形を追い求めた
仏師快慶の全貌が明らかに

快慶研究を行う上で欠くべからざる大著

日本では、仏像などの彫刻類を制作した工人を仏師と呼ぶ。仏師と言え、近年は運慶が注目されているが、ほぼ同時期に活躍した快慶の存在も無視することは出来ない。快慶は、鎌倉初頭期の重要な造仏事業に参加し、また中世以前の仏師の中では格段の数の造像銘記を伴う作例を遺し、さらに一般に安阿弥様と呼ばれる調和の整った阿弥陀如来立像の様式を創り上げ、後世に大きな影響を与えたからである。

それ故、快慶は早くから研究の対象にされてきたが、特に一九六一年に出版された毛利久氏の『仏師快慶論』は重要である。ただ、この著作が出てからすでに六十年以上が経ち、この間快慶作品や関連作品の発見が相次ぎ、改めて彼の事績を整理し、総括する書籍の登場が待たれていた。

その待望の一書と言える本書は、二〇一七年に奈良国立博物館で開催された快慶展の出品作品を中心に、造像銘記と作風から快慶作と現在認められる作品を全て収録し、これに加えて快慶との関連性が考えられる参考作品を可能な限り収録したものである。作品や造像銘記などが鮮明なカラー写真を併記紹介され、さらにX線CTスキャン画像や重要関連史料の収録も行われ、快慶に関わる基礎データが完備されている点は特筆される。また、作品解説の精度も高く、収録された四編の論文も重要な参考文献である。本書は、疑いもなく今後の快慶研究を進める上で欠かすことのない大著であり、日本美術史のみならず日本史学や宗教学の分野の研究者にとってもきわめて有益な著書と言える。

(根立研介 京都大学名誉教授・公益財団法人美術院理事長)

快慶の造形とその軌跡を辿る

仏師快慶が生み出す仏は、格調高き実在感を身に纏う。安阿弥様と呼ばれる端厳美麗な造形表現は、時空を超えて人の心を魅了する。

文献史学者が、美の特徴や価値を云々することは、できることなら控えたい。だが、快慶の造形美がなぜ生まれたのかを、時代を背景に考える誘惑には抗えない。

快慶の生没年は不明だが、源平合戦から承久の乱ごろまで、約四十年に亘る活動が確認できる。時は日本全土におよぶ動乱と復興の時代。若き快慶は、殺戮が繰り返され、人心荒廃する京都や奈良そして地方の惨状を目の当たりにしたはずだ。やがて快慶は東大寺を復興した重源に師事して「安阿弥陀仏」と称し、念仏同行衆となった。仏師として、念仏者として、快慶は救いを求める人々に向き合っただろう。そして造仏に結縁した貴顕衆庶の思いを受け止め、数多くの端厳美麗な仏を造立した。安阿弥様は乱世が生み出した「泥中の蓮」。快慶作品の気高さは、動乱が日本社会に与えた傷の深さと響き合っている、と思う。

快慶作品のすべてを高精細写真で収録する本書は、安阿弥様の造形美を余すところなく伝えてくれる。くわえて全銘文や像内納入品を紹介しているのは文献史学者にはありがたい配慮だ。解説編では、作品の特徴とともに、豊富な史料や最新の研究に基づいて、造像の背景を詳細に叙述している。本書を紐解いて、時代が求めた美を形にした快慶の軌跡を辿り、もって焦土からの復興に生きた人々に思いを馳せたい。

(横内裕人 京都府立大学教授)

奈良国立博物館編 仏師快慶の 研究

2022年
冬刊行
予定

現存するすべての快慶作品、
および関連作品を

迫力の大判カラーで掲載
快慶に関する基礎資料を
網羅した
快慶研究の決定版

高精細カラー画像、
X線CTスキャン画像など
最新鋭の機器による
初公開情報が満載



B4判上製函入・五六〇頁
定価・七七、〇〇〇円(税込)

発行: 思文閣出版		〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009 https://www.shibunkaku.co.jp/ E-mail: pub@shibunkaku.co.jp		(京都 取引コード 3402)
冊数	冊	仏師快慶の研究 定価 77,000円(税10%込)		ISBN 978-4-7842-1969-8
お名前			tel	
			e-mail	
ご住所	〒			
送本方法	代引(書籍代+消費税と現品を引き換えにお支払い、送料・代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎			

〔予定内容〕

図版

在銘作品

- 1 弥勒菩薩像（アメリカ ポストン美術館）
- 2 重要文化財 弥勒菩薩像（京都 醍醐寺）
- 3 重要文化財 阿弥陀如来像（京都 遣迎院）
- 4 重要文化財 大日如来像（滋賀 石山寺）
- 5 国宝 阿弥陀如来および両脇侍像（兵庫 浄土寺）
- 6 重要文化財 四天王像（和歌山 金剛峯寺）
- 7 重要文化財 執金剛神像・深沙大将像（和歌山 金剛峯寺）
- 8 重要文化財 孔雀明王像（和歌山 金剛峯寺）
- 9 重要文化財 阿弥陀如来像（兵庫 浄土寺）
- 10 重要文化財 菩薩面（兵庫 浄土寺）
- 11 重要文化財 阿弥陀如来像（広島 耕三寺）
- 12 菩薩像（静岡 伊豆山浜生協会）
- 13 国宝 僧形八幡神像（奈良 東大寺）
- 14 重要文化財 如来像 頭部（三重 新大仏寺）
如来像 手（アメリカ ハーバード大学美術館）
菩薩像 耳（個人）
- 15 重要文化財 阿弥陀如来像（奈良 東大寺）
- 16 重要文化財 不動明王像（京都 醍醐寺）
- 17 国宝 金剛力士像（奈良 東大寺）
- 18 国宝 文殊菩薩および侍者像（奈良 安倍文殊院）
- 19 大日如来像（東京芸術大学）
- 20 阿弥陀如来像（栃木 真教寺）
- 21 重要文化財 阿弥陀如来像（京都 松尾寺）
- 22 重要文化財 阿弥陀如来像（大阪 八葉蓮華寺）
- 23 重要文化財 阿弥陀如来像（奈良 安養寺）
- 24 重要文化財 阿弥陀如来像（奈良 西方寺）
- 25 重要文化財 阿弥陀如来像（和歌山 遍照光院）
- 26 阿弥陀如来像（京都 悲田院）
- 27 地藏菩薩像（京都 如意寺）
- 28 地藏菩薩像（アメリカ メトロポリタン美術館）
- 29 重要文化財 執金剛神像・深沙大将像（京都 金剛院）
- 30 阿弥陀如来像（大阪 大圓寺）
- 31 重要文化財 地藏菩薩像（奈良 東大寺）
- 32 重要文化財 阿弥陀如来像（岡山 東壽院）
- 33 重要文化財 地藏菩薩像（大阪 藤田美術館）
- 34 重要文化財 十大弟子像（京都 大報恩寺）
- 35 重要文化財 阿弥陀如来像（奈良 光林寺）
- 36 重要文化財 阿弥陀如来および両脇侍像（和歌山 光臺院）
- 37 釈迦如来像（アメリカ キンベル美術館）

迫力の全六十三点

— 在銘作品四十二点
— 重要作品二十一点

近赤外線・X線
CTスキャン画像等
を初公開



阿弥陀如来像（兵庫 浄土寺）

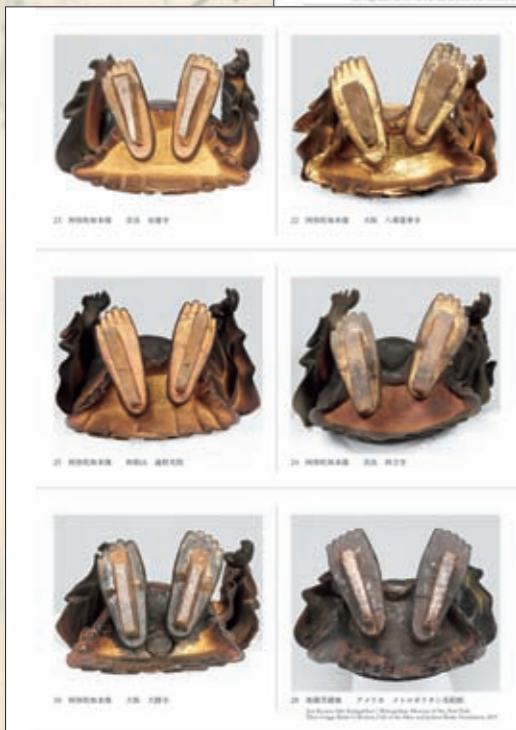


文殊菩薩像（奈良 安倍文殊院）



阿弥陀如来像（奈良 西方寺）

正面・背面・
側面ほか
さまざまな
角度からの
画像を掲載



像底・銘文集成、
論文、作品解説など
充実の内容

- 38 阿弥陀如来像（三重 安楽寺）
 - 39 重要文化財 阿弥陀如来像（滋賀 圓常寺）
 - 40 重要文化財 阿弥陀如来像（京都 大行寺）
 - 41 重要文化財 阿弥陀如来像（奈良 西方院）
 - 42 重要文化財 金剛薩埵像（京都 隨心院）
 - 重要作品
 - 43 重要文化財 千手観音像（京都 清水寺）
 - 44 菩薩像（京都 勝龍寺）
 - 45 菩薩像（アメリカ フリーア美術館）
 - 46 阿弥陀如来像（京都 知恩寺）
 - 47 阿弥陀如来像（大阪 藤田美術館）
 - 48 観音菩薩像・勢至菩薩像（栃木 地藏院）
 - 49 観音菩薩像（個人）
 - 50 重要文化財 金剛力士像（京都 金剛院）
 - 51 重要文化財 善導大師像（奈良 来迎寺）
 - 52 不動明王像（アメリカ メトロポリタン美術館）
 - 53 重要文化財 兜跋毘沙門天像（京都 青蓮院）
 - 54 重要文化財 阿弥陀如来像（浄土宗）
 - 55 重要文化財 阿弥陀如来像（京都 正法寺）
 - 56 阿弥陀如来像（石川 尾添区）
 - 57 重要文化財 西大門勅額八天王像（奈良 東大寺）
 - 58 重要文化財 不動明王像（京都 正壽院）
 - 59 重要文化財 聖観音像（奈良 東大寺）
 - 60 菩薩形像（静岡 鉄舟寺）
 - 61 重要文化財 阿弥陀如来像（静岡 新光明寺）
 - 62 重要文化財 阿弥陀如来像（三重 専修寺）
 - 63 重要文化財 阿弥陀如来像（京都 極楽寺）
- 資料**
- 像底・銘文集成
納入品X線CTスキャン画像
X線透過画像
南無阿弥陀仏作善集 影印・翻刻
- 論文**
- 山口隆介「快慶の生涯と「如法」の仏像」
奥 健夫「快慶と生身信仰」
三本周作「快慶作品における金属製莊嚴具について
——仏師と金工をめぐる一試論——」
山口隆介「X線CTスキャン調査からみた快慶作品の
構造とその特色——三尺立像を中心に——」
- 作品解説**
年表
主要参考文献

龍光院本 承久記絵巻

長村 祥知 編著

2023年3月刊行

A4横判・310頁／定価10,450円(税込) ISBN978-4-7842-2024-3

2020年、およそ八十年ぶりに再発見された『承久記絵巻』、待望の公刊。本書は、全六巻の絵図全容をカラーページで紹介するとともに、『承久記』流布本系統を平仮名にした本文の翻刻および解題を収録する。絵画史料として貴重な北条義時の肖像などを盛り込む、長らく世に出なかった稀覯の画卷が、現代によみがえる。

内容目次



序文
第一部 影印
龍光院本『承久記絵巻』巻第一～巻第六 附属品等
第二部 翻刻と解題
龍光院本『承久記絵巻』巻第一～巻第六 詞書 解題 『承久記絵巻』の基礎的研究 附表 (龍光院本『承久記絵巻』各巻の詳細寸法 ／慶長古活字本『承久記』・龍光院本『承久記絵巻』対照表)
第三部 関連論考
第一章 研究展望『承久記』 ——二〇一〇年九月以前——
第二章 承久の乱と歴史叙述
第三章 『平安通志』と『承久軍物語』
附 『承久記』文献一覧
初出一覧

ながむら・よしとも…1982年生まれ。2010年、京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士(人間・環境学)。京都府京都文化博物館学芸員を経て、現在、富山大学学術研究部人文科学系講師。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-533-6860 fax075-531-0009
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

『今昔物語集』
の
成立と対外観

荒木浩著

思文閣人文叢書

荒木 浩 [著]
『今昔物語集』の
成立と対外観

【思文閣人文叢書】

定価: 9,900円
本体: 9,000円 + 税10%

2021年12月刊行

▶ A5判上製・函入・460頁
ISBN978-4-7842-2015-1

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-533-6860 fax. 075-531-0009
<https://www.shibunkaku.co.jp> E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

平安末期に成立した説話集『今昔物語集』と、その根幹的な原拠という11世紀の源隆国「宇治大納言物語」。

10世紀後半の奮然の渡宋・帰国と一切経の請来のインパクトを承けて進展した対外交流や書物の輸出入、仏教的世界観の中での和国意識の高まりという対外観に注目しつつ、古代説話集の成立から『今昔物語集』の生成へという文学史、仏教文化史の潮流を論じる。

仏教世界の起源である仏伝の中に、日本だけにしか存在しない仏の遺言を語り伝え、和語で描こうとすること、また阿倍仲麻呂帰国説の生成など——、あまたの画期的な物語行為はいかにしてなされたのか。

◆内容目次◆

はじめに—対象としての説話集史素描

序 論 仏教文学としての説話集と対外観

第一部 古代説話集の成立と対外観

第一章 仏教類書の影響と説話集の存立
—「諸教要集」をめぐる

第二章 『三宝絵』の捨身と孝—尊子内親王をめぐる

第三章 投企される〈和国〉性
—『日本往生極楽記』改稿と和歌陀羅尼をめぐる

第二部 源隆国と「宇治大納言物語」
—説話集と作者の環境

第一章 源隆国の才と説話集作者の資質
—研究史再考から「宇治大納言物語」へ

第二章 源隆国晩年の対外観と仏教
—宇治一切経蔵というトポスをめぐって

補 論 藤原忠実の「家」と「父」そして「子」
—言談・説話の中の院政期

第三部 『今昔物語集』の成立と宋代

第一章 『今昔物語集』成立論の環境
—仏陀耶舎と慧遠の邂逅をめぐる

第二章 『今昔物語集』の成立と宋代
—成尋移入書籍と『大宋僧史略』などをめぐって

第三章 かへりきにける阿部仲麻呂—『今昔物語集』と『新唐書』そして『土左日記』異文のことなど

第四章 『今昔物語集』の宋代観と和歌逸話の形成

補 論 編纂動機と逸話配列
—紀貫之の亡児哀傷と『国文学史講話』をめぐる

終 章 世界叙述と説話文学史—矜持する和語

索引 (人名、書名、研究者名)

伊勢物語絵研究会 編

住吉如慶筆 伊勢物語絵巻

◆A4判上製本・328頁(含カラー144頁)／定価:30,360円(税込)

【2019年4月刊行】



組見本(図版篇)

近年、展覧会で公開される機会も増え、近世における伊勢物語絵の最高水準を示す作品とされる、住吉如慶筆「伊勢物語絵巻」(東京国立博物館蔵)。

本書は、絵巻全体の構成や場面解説および解釈の最新研究成果を提示する。絵画史、国文学のみならず歴史学や住宅建築史、さらに文化史や服飾史などの幅広い視点から、如慶が描く伊勢物語絵の魅力にせまる。

絵巻全図版のほか、本絵巻に特徴的な人物表現・表情や画中画部分などの図版をカラーで掲載し、豊富な資料を収録。

住吉如慶筆「伊勢物語絵巻」(東京国立博物館所蔵)の概要——河田昌之

◎図版篇◎

図版(カラー)

伊勢物語 各章段の概要——山本登朗

詞書釈文——青木賜鶴子、泉紀子、田中まき

絵画場面を読む——青木賜鶴子、赤澤真理、泉紀子、大口裕子、河田昌之、田中まき、山本登朗

◎論考篇◎

住吉如慶の古画学習:「伊勢物語絵巻」と「年中行事絵巻」——大口裕子

如慶の着想:絵画表現と料紙に施された金銀箔による装飾——河田昌之

「伊勢物語絵巻」に描かれた建築空間:建築考証と貴族住宅像——赤澤真理

「伊勢物語絵巻」にみる住吉如慶の復古的服飾表現——伊永陽子

参考図表/法量一覧/関連年譜/参考文献・引用文献



思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009
https://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

下記、必要事項をご記入の上、FAXでご送信ください。

中古文学会
オンライン
特販

販売期間：
～2023/10/31まで

割引販売のご案内

送付先ご住所 お名前	電話： e-mail：	FAX：
連絡先 (勤務先)	tel	fax
▶お渡し・送本・お支払い方法 (いずれかをお選び下さい ご指定がない場合は①になります)		
①代金引換便にて送本 ※配達時に配達員に支払 (クレジットカード使用可能)		
②前払い。入金確認後送本 ※折り返し入金先をお知らせいたします		
③大学・研究機関へ送本。公費払い ※大学・研究機関の公費のみ対応いたします		
▶未刊書籍の発送について (<input type="checkbox"/> 既刊書とまとめて発送 <input type="checkbox"/> 既刊書とは別途発送) 送料は発送ごとに加算いたします		
▶公費の場合下記に必ずご記入下さい		
大学・研究機関名 ()		
必要書類 (納品書 通 請求書 通 見積書 通) 書類押印 (要・不要)		
書類宛名 () 日付記入 (要・不要)		
ご注文以外のご住所変更などの場合は右にチェックして下さい <input type="checkbox"/> 新刊案内お送り先住所変更 <input type="checkbox"/> 以後新刊案内不用		

■同意事項■ (必ず下記事項をご覧いただき、ご同意の上お申し込みください)

・私は、思文閣グループの「個人情報保護方針」および「個人情報の取り扱いについて」を確認した上で、提供する個人情報の取り扱いについて同意します。

(「個人情報保護方針」「個人情報の取り扱いについて」は <https://www.shibunkaku.co.jp/privacypolicy/> をご覧下さい)

FAX 075-531-0009

書名	部数	
		公費・私費
		公費・私費
		公費・私費
		公費・私費
		公費・私費
		公費・私費
		公費・私費

[送料] お買い上げ税込価格
20,000 円未満 — 900 円
20,000 円以上 — 無料

大学・研究機関の公費以外のご注文については、全て代金引換便か前払いでお送りさせていただきます。これまで後払いでお送りしていた方も、後払いはできませんので、何卒ご了承下さい。

PR誌鴨東通信 (年2回刊・無料) 希望

メールマガジン希望
(電子メールで最新情報を配信・無料)

株式会社 思文閣出版

<https://www.shibunkaku.co.jp/>

〒605-0089 京都市東山区元町355
TEL 075-533-6860 FAX 075-531-0009
pub@shibunkaku.co.jp